

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

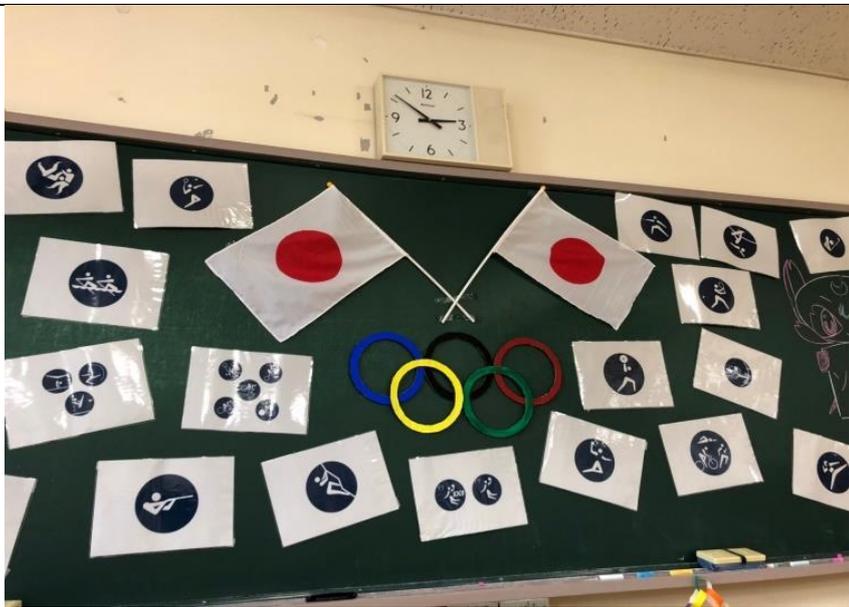
事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 群馬県 】

学校名【群馬県立西邑楽高等学校】

1 実践テーマ	① ② ③ ④ ⑤ (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	スポーツ科3学年115名 3年生 39名 2年生 38名 1年生 38名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (スポーツ概論) ② 行事名 (校内文化祭) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	生徒のオリンピック・パラリンピックへの興味関心を向上させ、スポーツの価値への理解を深めるとともに、オリンピック・パラリンピックを『観るだけ』にならないよう、『する』『観る』『支える』の観点で捉え、自己実現へ向けたキャリア教育に繋げる。
5 取組内容	【3年生】 ○オリンピック・パラリンピックに関する調べ学習をグループ活動で行った。その成果を校内文化祭でクラス企画として発表し、全校生徒へ発信した。 《発表内容》 ①オリンピックとは ②オリンピックの競技について ③東京オリンピック・パラリンピック2020について ④パラリンピックとは ⑤パラリンピックの競技について ⑥日本人選手の活躍 ⑦オリンピック・パラリンピックの商業的側面について ⑧オリンピック・パラリンピックに関連する団体・組織について

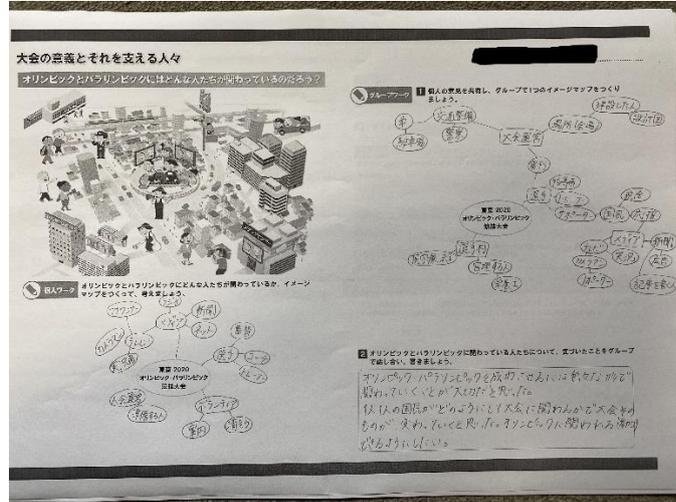


【2年生・1年生】

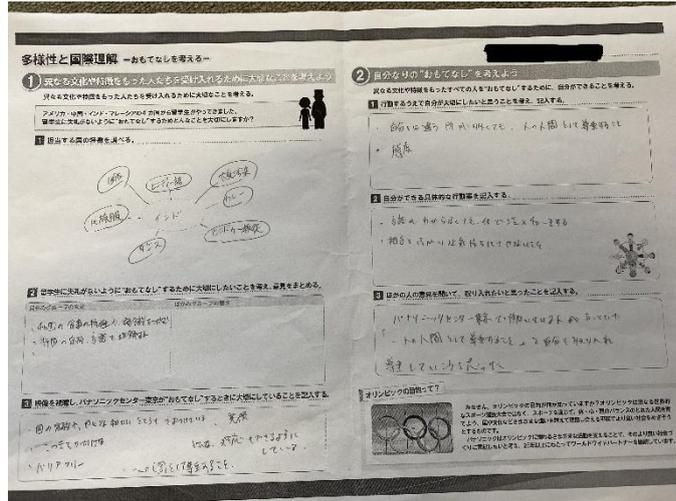
〇スポーツ概論の授業で、主に『観る』『支える』の観点を中心に実施した。教材はPanasonicが提供する『オリンピック・パラリンピックを題材とした教育プログラム』を活用し、DVDの映像資料とワークシートによる授業を5時間にわたって行った。

《教材内容》

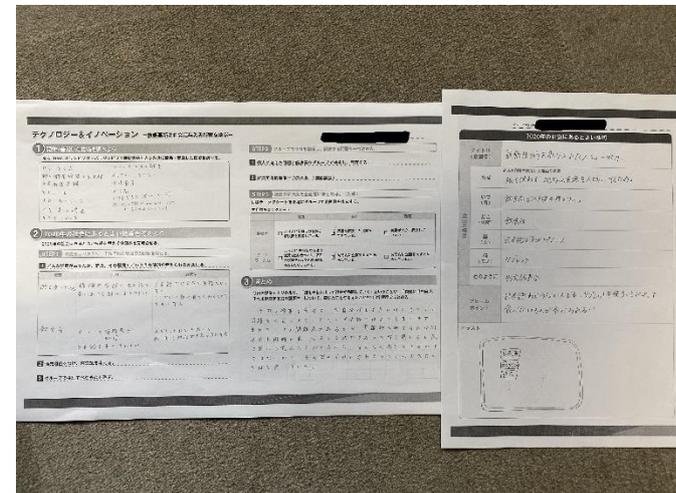
・プログラム1 「大会の意義とそれを支える人々」



・プログラム2 「多様性と国際理解-おもてなしを考える-」



・プログラム3 「テクノロジー&イノベーション-技術革新が社会に与える影響を学ぶ-」



・プログラム4 「多様性と共生社会-インクルーシブな社会を考える-」



・プログラム5 「オリンピックとパラリンピックが目指すサステナブルな未来」



<p>6 主な成果</p>	<p>筑波大学オリンピック・パラリンピック教育プラットフォーム(CORE)による事前・事後アンケートを実施した。結果の詳細は分からないが、パラスポーツに関する知識は格段に向上した。また、『支える』の観点でも、関わる人の多さや分野の広さは生徒の予想をはるかに上回り、スポーツへの関わり方の多様性を学ぶことができた。</p>
<p>7 実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>昨年度は、オリンピックによる講演会を実施したため、今年度は座学によるオリンピック・パラリンピック教育を中心とした。 各学校には教材『I'm possible』が送付されているが、映像による授業を行えるPanasonicの教材を申し込み活用した。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>2年目の実施であるため、講師派遣の予算がつかず、教材費のみで実施したが、教材を提供してくれる案内等は学校宛てにいくつが届いた。予算があるに越したことはないが、活用の仕方次第でたくさんの経費をかけずに取り組むことは可能である。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>本校は推進校として2年間取り組んだが、生徒の意識は向上していると実感した。ぜひ、この機会をできるだけ多くの学校にも経験してほしいと思う。 本校では引き続きスポーツ科の授業を通して、オリンピック・パラリンピック教育を推進していきたいと考えている。</p>